

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2022年												2023年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日	4月 ~9日
カンピロバクター	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	13	17	5	11	10 (1)	15
病原性大腸菌	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	14	17	12	12	7 (3)	13
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	1	0
サルモネラ	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	1	0	1	0	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	3	5	2	3	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	4	4	5	1	2	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	0	0	1	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	0	0	0	1	0
ノロウイルス	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	3	2	1	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第14週(4月3日~4月9日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	5	結核	5		1			2	1	1	
三類	0	発生なし	0								
四類	3	つつが虫病	1				1				
		日本紅斑熱	1			1					
		レジオネラ症	1		1						
五類	14	アメーバ赤痢	1					1			
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2				1			1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	1								1
		梅毒	10		1	1		7		1	
新型インフルエンザ 等感染症	1,878	新型コロナウイルス感染症	1,878	205	143	183	126	766	116	339	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第14週に766件の報告があり、新規感染者数はほぼ横ばいです。全国的に下げ止まりとなっており、増加の地域も多くみられ、今後の発生動向に注意が必要です。新年度を迎え、人が集まる機会が増えると予想されます。感染を再拡大させないために、一人一人が基本的な感染予防対策を続けることが大切です。

2 インフルエンザ

定点当たり7.03人の報告があり、減少傾向ですが多い状況です。引き続き、手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第14週 A型:58人、B型:1人

3 梅毒

今年の累計は66件(昨年同時期59件)となり、感染症法施行以降で最多となった昨年を上回るペースで報告されています。心当たりや疑わしい症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	253	7.03	0.57	◇	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.07	
	咽頭結膜熱	1	0.04	0.20		小児科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.21	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	1.16		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	56	2.33	5.19	◇	眼科	流行性角結膜炎	5	0.63	0.48	
	水痘	6	0.25	0.24		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.11		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.11		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	
	突発性発しん	5	0.21	0.27		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.08		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.86	

急増減 ↑ (赤) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	29	20歳代、50歳代
5	アメーバ赤痢	1	3	60歳代
5	梅毒	7	66	10歳代・1人、20歳代・3人、40歳代・1人、50歳代・2人